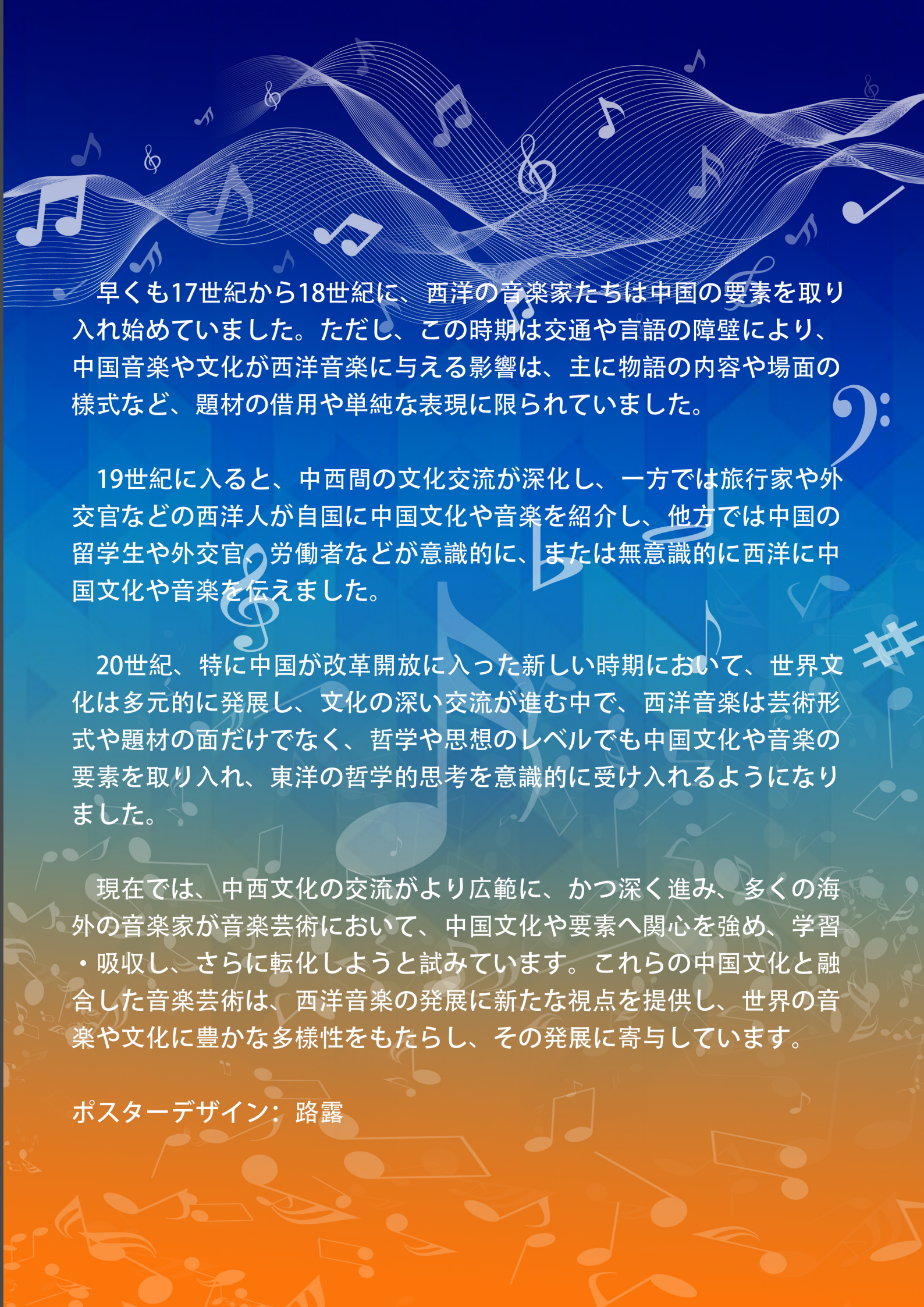




早くも17世紀から18世紀に、西洋の音楽家たちは中国の要素を取り入れ始めていました。ただし、この時期は交通や言語の障壁により、中国音楽や文化が西洋音楽に与える影響は、主に物語の内容や場面の様式など、題材の借用や単純な表現に限られていました。

19世紀に入ると、中西間の文化交流が深化し、一方では旅行家や外交官などの西洋人が自国に中国文化や音楽を紹介し、他方では中国の留学生や外交官、労働者などが意識的に、または無意識的に西洋に中国文化や音楽を伝えました。

20世紀、特に中国が改革開放に入った新しい時期において、世界文化は多元的に発展し、文化の深い交流が進む中で、西洋音楽は芸術形式や題材の面だけでなく、哲学や思想のレベルでも中国文化や音楽の要素を取り入れ、東洋の哲学的思考を意識的に受け入れるようになりました。

現在では、中西文化の交流がより広範に、かつ深く進み、多くの海外の音楽家が音楽芸術において、中国文化や要素へ関心を強め、学習・吸収し、さらに転化しようと試みています。これらの中国文化と融合した音楽芸術は、西洋音楽の発展に新たな視点を提供し、世界の音楽や文化に豊かな多様性をもたらし、その発展に寄与しています。

ポスターデザイン：路露